

「異国趣味とオリエンタリズム」

2014年6月14日ー7月12日 全5回シリーズ

BRIDGESTONE
MUSEUM OF ART
ISHIBASHI FOUNDATION

- 第1回 6月14日(土) 「『支那服の女』の誘惑
— 画家、そして知識人男性は《金蓉》に何を見たのか」
池田 忍 氏 (千葉大学教授)
- 第2回 6月21日(土) 「『日本人』はアジアに何を見たのか?」
天野 一夫 氏 (豊田市美術館チーフキュレーター)
- 第3回 6月28日(土) 「藤島武二が描いた中国服の女性像」
児島 薫 氏 (実践女子大学教授)
- 第4回 7月 5日(土) 「アジアを描いた日本の絵画
— 日本的なオリエンタリズムとは何か?」
西原 大輔 氏 (広島大学教授)
- 第5回 7月12日(土) 「『植民地絵画』の完成: 偽『満州国』オリエンタリズム考」
稲賀 繁美 氏 (国際日本文化研究センター教授)

テーマ展示「描かれたチャイナドレス—藤島武二から梅原龍三郎まで」にあわせて開講するシリーズです。明治維新以降の日本の美術家たちが、アジアをどのように見つめてきたのか。西洋を知ってしまった彼らが、アジアとどのように向き合ったのか。彼らの内なるアジアがどのようにあらわされてきたのか。気鋭の研究者たちによって日本の近代をさまざまに探索します。

- 会期: 2014年6月14日ー7月12日 全5回
 - 時間: 14:00-16:00 (開場 13:30)
 - 会場: ブリヂストン美術館 1階ホール
 - 定員: 130名 (先着順)
 - 聴講料: 各400円 (4/26より発売、先着順)
- ※ 聴講券はブリヂストン美術館のチケット窓口でお求めください。
(10:00-17:30、毎週金曜日 10:00-19:30)
月曜休館 (4/28、7/7、7/14、祝日は開館)
- ※ 当日は聴講券をホール受付でご提示ください。
お持ちいただけない場合は受講できません。
- ※ 聴講券の払い戻し、日にちの変更は承っておりません。

開催中の展覧会 テーマ展示「描かれたチャイナドレス—藤島武二から梅原龍三郎まで」4/26(土)ー7/21(月・祝)
併設: ブリヂストン美術館コレクション展—印象派から抽象絵画まで

〒104-0031 中央区京橋 1-10-1 TEL 03-3563-0241

- JR「東京駅」(八重洲中央口) から徒歩 5分
- 東京メトロ銀座線「京橋駅」(6番出口) から徒歩 5分
- 東京メトロ銀座線・東西線/都営浅草線「日本橋駅」(B1出口) から徒歩 5分



ブリヂストン美術館
公益財団法人 石橋財団